

2026（令和8）年度 学校経営方針

教育目標				
○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子				
学校経営の基本方針				
学力・体力 <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさを感じ、自ら学ぶ意欲を高めながら力を付ける学習 ・豊かなスポーツライフと資質・能力を重視し、体力向上を実現する学習 	経営理念「一人を大切に ～ 誰一人取り残さず、すべての人を幸せにする教育 ～」			心の成長 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性や社会性、優しさを育む、心と体の一体的な教育 ・体験的な学習や異年齢交流を通し、自己肯定感や自己効力感の醸成を図る教育
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童一人一人の資質・能力を伸ばす学習の充実 ○ 保護者・地域とともに児童を育む、開かれた学校づくり ○ 学校の教育力、組織的実践力の向上 ○ 共生社会の実現に向けた、特別支援教育の充実 			
	Mission of Nakakoiba Elementary School お互いの良さを認め合い、主体的に学び行動する児童の育成			
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 目指す学校像 誰からも信頼される学校 </div> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 目指す職員像 児童にとっての最大の教育環境 </div> </div>			
基礎・基本等の学力と体力の向上	児童が意欲的に学ぶ環境づくり	学校・家庭・地域の連携・協働	職員の高い志と組織力の向上	多様な教育ニーズへの対応と充実
<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等の基礎的基本的な知識や技能の確実な定着 ・「考える子」の土台となる、基礎基本としての読解力と論理的思考力の育成 ・基礎基本の基盤となる、言語能力と非言語能力の育成 ・読書科と総合的な学習の時間を要とする、探究的な学習の充実 ・運動する楽しさやライフパフォーマンスの向上を目指し、児童が主体的に取り組む体育科の学習 ・主体的に社会に参画する態度の育成を図る学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習活動に参加し、学ぶ楽しさや喜びを実感できる授業 ・ファシリテーターとしての教員の役割の強化 ・問題解決のための話し合いや協働的な学習を通じた主体的に学習する態度の醸成 ・タブレット端末を有効に活用した学習活動の推進 ・ドリルパークを活用した学習状況や学習ログを踏まえた個別の学習の充実 ・各教科等の学びを学校生活や特別活動、児童の歩みと相互に関連付けた学習活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域と連携して、共に児童の成長を促す教育の推進 ・ホームページやtetoruを活用した情報発信の一層の充実 ・学校評価を有効活用した教育活動の改善 ・通知表と面談を併用した学習評価の周知 ・各分野で活躍する外部人材を活用した、価値ある学習機会の拡充 ・家庭や地域と連携した児童の主体性を育む生活指導の充実 ・家庭学習の定着を図る取組の強化 ・コミュニティスクール導入を見据えた連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人の持ち味を活かした学校運営 ・職員自身による主体的な目標設定と、達成に向けたプロセスの明確化と実践。適切な業績評価の実施 ・PDCAサイクルによる学校や学年、学級、分掌等の経営の改善と充実 ・指導力や指導技術の向上のための研修や研究の充実 ・学級、学年や分掌等の枠を超えた学校運営の一層の推進 ・ライフワークバランスの推進と、働き甲斐や働きやすさを実感する職場環境の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターを要とする校内支援体制の強化 ・交流及び共同学習の一層の推進 ・きこえとことばの教室の指導を生かした、言語理解に関わる教育の推進 ・巡回指導教員やSC、SSWとの連携 ・エンカレッジルームの活用と支援体制の充実 ・児童や保護者を対象とした理解啓発学習の推進 ・児童の学ぶ環境を整えるための合理的な配慮やUDLを取り入れた教育の推進
オープン化	システム化		ネットワーク化	
<ul style="list-style-type: none"> ・経営方針や週案等の計画、授業実践の日常的な交流 ・児童、保護者、地域、職員相互の相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営の効率的なシステム化と、文書様式等のさらなる改善 ・人事考課制度を有効活用した人材育成と、課題の克服 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校内外のネットワークの一層の強化と、CS導入への準備 ・関係機関等との価値的な連携と、協働体制の構築 	